

【様式】

令和7年度 学校マネジメントシート

学校名(県立松阪工業高等学校(全日制))

1 目指す姿

(1)目指す学校の姿		○ これからの社会に必要とされる資質・能力を高め、地域で活躍する人材を育成する学校 ○ 専門学科における知識、技術の習得や高度な資格の取得に取り組むとともに、それらを実践的に活用できる人材を育成する学校
(2)	育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿) 【グラデュエーション・ポリシー】	○ 自ら考え、判断・決定し、行動する力を身につけた生徒。 ○ 基礎・基本を大切にし、自分を律しながら学び続ける生徒 ○ 他者と協働しながら、目標に向かって粘り強く挑戦する生徒
	ありたい教職員の姿	○ 多様な仲間とともに、生徒の個性・力を最大限に引き出し、生徒の学びを支える伴走者として役割を果たせる教職員 ○ 変化を前向きに受け止め、探究心を持ちつつ専門的な知識・技術の習得等に向け自律的に学び続ける教職員

2 現状認識

(1)学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待		〈生徒〉希望進路の実現、わかりやすい授業と基礎学力の向上、充実した学校行事や部活動等。 〈保護者〉基礎学力の向上、希望進路の実現。施設・設備等の教育環境の充実、学校行事等への参加機会の増加 〈地域(含む小中学校、就職・進学先)〉求めるコンピテンシーの育成、技術者としての知識・技術の習得、地域と連携した活動の充実	
(2)連携する相手と連携するうえでの要望・期待		連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
(3)前年度の学校関係者評価など		〈保護者・地域〉同上 〈同窓会〉本校生徒としての誇りと自覚を持つ、社会に有為な人材の育成 〈保護者・地域・同窓会〉PTA活動、地域行事、インターンシップ、講演会等による学校経営への参画	
(4)現状と課題		教育活動	資格取得など良い成績を修めている。就職・進学は現在しやすい状況になってきているが、卒業後も生き生きと続けられているかが大切である。 相手や地元を大切にする心を育ててほしい。 生徒の問題・課題は、早期発見と指導が大切である。先生方の気づきがあり、指導につながっている。保護者や小中学校との共有や連携も大切である。 情報共有は対面の方が共有できる。コミュニケーションは双方向でないといけない。
		学校運営等	① 授業の改善・充実を図り、すべての生徒の基礎学力を向上させるとともに、生涯に渡って学び続ける学習習慣づくりを行う必要がある。 ② 生徒の自己肯定感を高め、一人ひとりの存在や思いが大切にされる学校づくりを進めることが急務である。 ① 探究的な学びを構築するため、教職員一人ひとりの資質向上が求められている。 ② 教職員が同じ目標に向かって協力できるための情報共有を進めるとともに、業務の思い切った削減等により過重労働を軽減することが必要である。

3 中長期的な重点目標

教育活動 【カリキュラム・ポリシー】	I 自ら考え、判断・決定し、行動する力の育成 ○ 専門科目を中心に、実践的・体験的学習を重視し、社会的・職業的自立に向けて必要となる資質・能力を育成する。 ○ 学習により身に付けてきた知識、技術などを基に、課題を発見し、科学的な根拠に基づき解決策を探究し、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。 II 基礎・基本を大切にし、自分を律しながら学び続ける力の育成 ○ すべての生徒が学ぶ教科・科目では、基礎・基本を重視した学びにより、基礎学力や教養の向上・定着を図る。 ○ グローバルに活躍できる人材を育成するため、基本的マナー・習慣の習得、会話を重視した外国語の教育等によりコミュニケーション能力の向上を図る。 III 他者と協働しながら目標に向かって粘り強く挑戦する力の育成 ○ 部活動や資格取得への取組を充実する。 ○ 人権教育、道徳教育、命を大切にする教育、主権者教育により、互いの良さや多様な考えを認め合い、自主的・実践的に活動する力を育成する。
学校運営等	A 社会の変化に対応した学校づくりの推進 ○ 授業改善と教科間連携を積極的に推進し、Society5.0 等の社会の変化に対応できる資質・能力を育む教育内容を創造する。 ○ 積極的な情報発信と、地域活動等における連携・協働を図り学校のブランド力のさらなる強化を進める。 ○ 生徒一人ひとりの学習状況や生活実態等を的確・総合的に把握し、基礎学力の向上や、いじめ・不登校の未然防止や早期の対応を図る。 B 誰もが自信と誇りを持った「チーム松工」としての体制・組織づくり。 ○ 生徒の多様なニーズにきめ細かく対応できるよう、各種委員会の活性化や情報共有等を充実し、主体的に実践できる教職員組織づくりを進める。 ○ 業務全般について時間管理を意識した効率化を進め、教職員が心身ともに健康的な生活を送ることのできる職場づくりを行う。 ○ 風通しのよい職場づくりに取り組み、教職員が相互に協力し合う組織文化を醸成する。

4 求める生徒像

入学時に期待される生徒の姿 【アドミッション・ポリシー】	○挨拶をはじめとする基本的生活習慣が身についている生徒 ○専門的な知識・技能を身につけたい生徒 ○ものづくりに興味・関心があり、資格取得にも積極的に取り組める生徒 ○勉学及び部活動・生徒会活動等に興味と意欲を持っている生徒
--	--

5 本年度の行動計画と評価

(1)教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
自ら考え、判断・決定し、行動する力の育成	【活動指標】 ① 1・2年生の進路ガイダンス・進路講話、進路希望に関するアンケート等による、早期からの具体的な目標設定 ② 企業との情報交換に基づく求められる資質・能力の授業等での育成 ③ 課題研究等の成果の積極的発信 【成果指標】 就職・進学希望者の決定率 100% ジュニアマイスター顕彰認定者数の増加	(年度末および適宜記載)	
基礎・基本を大切に、自分を律しながら学び続ける力の育成	【活動指標】 ① 生徒自身の気付きにつながる適切な観点別評価の実施 ② 授業取組改善週間の実施 ③ 基礎力診断テストを活用した、学習のPDCAサイクルの定着 ④ 学習習慣づくりのための面談を実施 ⑤ 交通安全講話及び、薬物乱用防止講話をそれぞれ年1回実施 【成果指標】 アンケートで意欲的な態度で授業に取り組めた回答する生徒の割合 90%以上 2学期での基礎力診断テストの結果「Dゾーン」生徒数の減少及び「A・Bゾーン」生徒数の増加	(年度末および適宜記載)	※ ◎
他者と協働しながら目標に向かって粘り強く挑戦する力の育成	【活動指標】 ① 人権LHR等での個性や多様な考え等を認め合う学習の実施 ② いじめや暴力を許さない環境の整備 ③ 年3回の学校生活等に関するアンケート(いじめアンケート)の実施 【成果指標】 学校生活の満足度調査において、肯定的回答 90%以上	(年度末および適宜記載)	
改善課題			
(年度末に記載)			

(2)学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
社会の変化に対応した学校づくりの推進	【活動指標】 ① 授業改善のための授業アンケートの実施 ② 効果的な現職教育等の実施 ③ 不祥事根絶に向けたコンプライアンス研修の実施 ④ インスタグラム等 SNS を利用した情報発信 ⑤ 学校案内やHP等の広報媒体の魅力化 ⑥ 地域貢献活動への参画 【成果指標】 教職員の不祥事の根絶、 入学希望者数の増加(12月調査 1.1倍(220名))	(年度末および適宜記載)	◎
誰もが自信と誇りを持った「チーム松工」としての体制・組織づくり。	【活動指標】 ① 共通認識形成のためのミーティングの定例化 ② 電話対応時間の変更 ③ 各教職員が業務等を考慮し、各自で計画的に月1回以上の定時退校日の実施 ④ 会議時間の短縮及び会議の精選・削減 ⑤ 会議資料のペーパーレス化 ⑥ 学校閉校日の設定(年4日以上) ⑦ 調査・アンケート等業務のDX化 【成果指標】 ① 月平均時間外労働の削減(1人あたり25時間以下) ② 年360時間超え並びに月45時間超えの時間外労働者のべ0人 ③ 年間休暇取得数の増加(1人あたり15日以上) ④ 1時間以内に終了した会議の割合 90%以上		※
改善課題			
(年度末に記載)			

6 学校関係者評価

明らかにった改善課題と次への取組方向	(年度末に記載)
--------------------	----------

7 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	(年度末に記載)
学校運営についての改善策	(年度末に記載)